
DM-3200 DAW Control

Mackie Control emulation for Digital Performer 4.x

日本語版

Version 1.10

1. 概要.....	3
2. DM-3200 及び Digital Performer の設定.....	3
2.1 DM-3200 の設定.....	3
2.2 Mac での設定.....	3
2.2.1 Audio MIDI 設定.....	3
2.2.2 Control Surface Setup.....	4
3. LCD 画面.....	4
4. チャンネル機能.....	5
5. トップパネルキー.....	6
5.1 センド 1-4 の選択.....	6
6. トランスポート.....	6
6.1 Rewind / Fast Forward のモード.....	7

1. 概要

本マニュアルは DM-3200 コントロール・サーフェースを使用した Digital Performer 4.x のコントロールについて述べられています。

2. DM-3200 及び Digital Performer の設定

2.1 DM-3200 の設定

DM-3200 の REMOTE > EXT.CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から MC for DP を 2 つ追加します。

同様に REMOTE > MACHINE CTRL 画面にて、サポート・デバイスの中から MC for DP を 1 つ追加します。デバイス登録後、トランスポート機能を有効にする為に TRA 部分のラジオボタンをチェックする必要があります。

2.2 Mac での設定

2.2.1 Audio MIDI 設定

DP メニューバーの Setup > Open Audio MIDI Setup をクリックするか、または Mac ファインダーから Audio MIDI 設定ウィンドウを開き MIDI 装置タブをクリックします。

装置の追加をクリックして新しい外部装置を追加します。

新しい外部装置アイコンをダブルクリックして新しい外部装置のプロパティを開き、下記の様に選択します。

製造元：Mackie

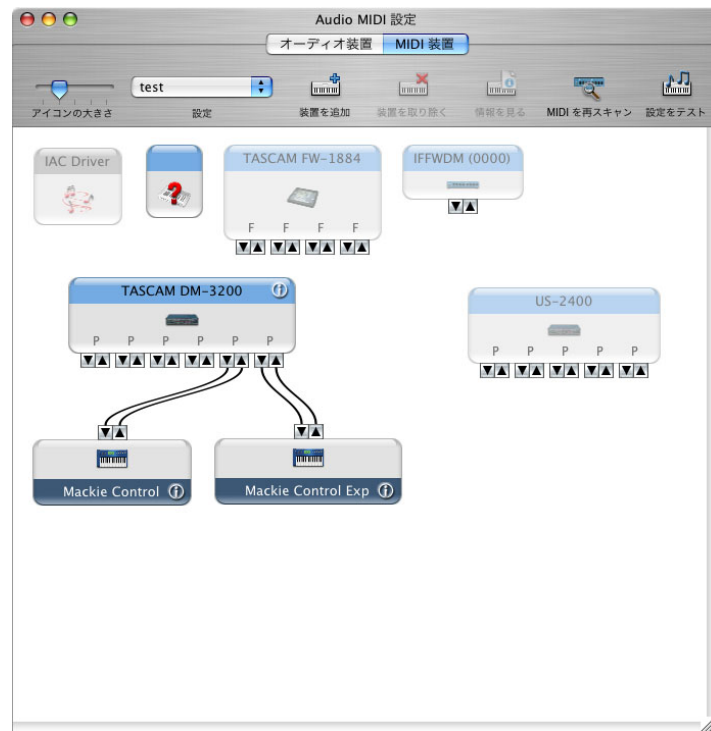
機種：Mackie Control

適用をクリックしてプロパティウィンドウを閉じます。

同様に、機種：Mackie Control Exp を設定します。

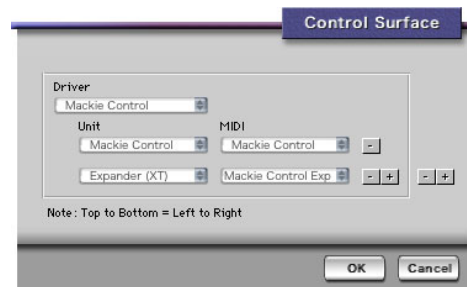
DM-3200 の Port 5 の入出力と Mackie Control の入出力を接続します。

同様に、DM-3200 の Port 6 と Mackie Control Exp の入出力を接続します。



2.2.2 Control Surface Setup

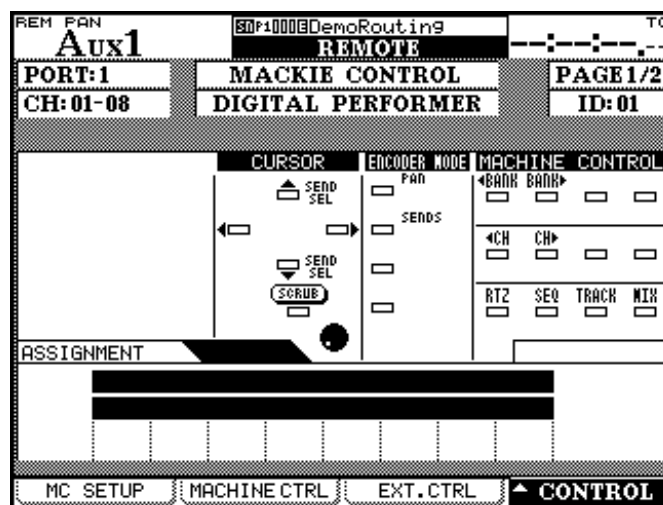
DP メニューバーの Setup > Control Surface Setup をクリックして Control Surface ウィンドウを開き、下記図の様に設定します。



以上で設定は完了です。

3. LCD 画面

下図が DP 4.x コントロール用の画面です。



4. チャンネル機能

以下の表はチャンネル機能の概要です。

DM-3200	補助キー	DP 機能	注記
リングエンコーダー		エンコーダー	パン・AUX センドなどをコントロールします
リング LED		リング LED	リングエンコーダーを操作する事によって変更されたパラメータ情報のレスポンスが DP から返ってくる事によってリング LED の点灯を行います
Select キー		Select	トラックの選択を行います セレクトされたトラックは SEL LED が点灯します
	Rec	Rec ready	トラックをレコードレディ設定をします アクティブ時、RED LED が点灯します
Solo		Solo	トラックのソロオン：オフ設定をします オン時、SOLO LED が点灯します
Mute		Mute	トラックのミュートオン・オフ設定をします オン時、MUTE LED が点灯します
トラックフェーダー タッチ		トラックフェーダー タッチ	トラックフェーダーのタッチセンスメッセージを送信します
トラックフェーダー		トラックフェーダー	トラックフェーダーをコントロールします
マスターフェーダー タッチ		マスターフェーダー タッチ	マスターフェーダーのタッチセンスメッセージを送信します
マスターフェーダー		マスターフェーダー	マスターフェーダーをコントロールします

5. トップパネルキー

下記の表は DM-3200 トップパネルキーによるコントロールの概要です。

DM-3200	補助 キー	DP 機能	注記
Pan (ENCODER MODE セクション)		Pan	リングエンコーダーによってコントロールされるパラメータをパンに設定します
Aux (ENCODER MODE セクション)		Sends	リングエンコーダーによってコントロールされるパラメータをセンドに設定します
Flip		Flip	リングエンコーダー操作対象パラメータとフェーダーレベルをフリップします
上カーソル		上カーソル	
下カーソル		下カーソル	
左カーソル		左カーソル	
右カーソル		右カーソル	
データホイール			
	Scrub	Scrub	データホイールの動作モードをスクラブにします スクラブモード時に LCD 画面内の SCRUB スイッチは反転表示になります

5.1 センド 1-4 の選択

Encoder mode セクションの SENDS キーを押すとセンド 1-4 のコントロールを行う事が出来ます。

SENDS キーを押したあと、センド 1-4 の選択は上下カーソルキーにて行います。

6. トランスポート

下記の表は DM-3200 トランスポート関連によるコントロールの概要です。

DM-3200	補助 キー	DP 機能	注記
Rewind		Rewind	Rewind, Slow Rewind 操作を行います
Fast forward		Fast forward	Fast Forward, Slow Fast Forward 操作を行います
Stop		Stop	Sop 操作を行います
Play		Play	Play 操作を行います
Record		Record	Record 操作を行います
<BANK		< BANK	コントロール対象を 16トラック左へシフトします
BANK>		BANK>	コントロール対象を 16トラック右へシフトします
<LOCATE		<CHANNEL	コントロール対象を 1トラック左へシフトします
LOCATE>		CHANNEL>	コントロール対象を 1トラック右へシフトします

RHSL		RTZ	ソングの先頭にジャンプします
SEQ			Sequencer editor ウィンドウを開きます
TRACK			Tracks overview ウィンドウを開きます。
MIX			Mixing board ウィンドウを開きます

6.1 Rewind / Fast Forward のモード

Rewind / Fast Forward には 2 つのモードがあります。

Type	Note.
Slow Rewind	ストップ時、又は Rewind 時に REW キーを押すと Slow Rewind モードに入ります
Rewind	Slow Rewind 時に REW キーを押すと Rewind モードに入ります
Slow Fast Forward	ストップ時、又は Fast Forward 時に F FWD キーを押すと Slow Fast Forward モードに入ります
Fast Forward	Slow Fast Forward 時に F FWD キーを押すと Fast Forward モードに入ります